

2026 年度 教育学部 ゼミ生選考の方法について

教育学部

今期に実施されるゼミ生選考の方法について、以下の内容をよく読み、十分に理解してください。

- ① 10 月末までに、学生によるゼミ紹介行事が行われる予定(教育学部企画によるゼミ生懇談会など)。各担当教員の氏名と研究領域については、次のページを参照すること。
- ② **11 月 2 日(月)～11 月 13 日(金)**：「個別ガイダンス」を実施(日程は、10 月下旬に提示予定)。学生は、各教員のもとを訪問し、それぞれのゼミの学習内容・研究方法などについて説明を受けて、配属希望先決定の参考とする。ゼミについて紹介するだけでなく、配属のための付帯条件として研究計画書の提出などを求める教員もあるので注意すること。
- ③ **11 月 9 日(月)～16 日(月) 20:00(厳守)**：ゼミへの配属を希望する学生は、Google フォーム(11 月上旬に通知予定)から、「ゼミ生カード」(MS-Word ファイル、創価大学 HP「演習 I(ゼミ)の登録」<https://www.soka.ac.jp/campuslife/learning/lesson/ensyuu/> の「教育学部」、「ゼミ生カード」を順にクリックし、ダウンロード。第 1 希望のみを作成を提出するとともに、第 1 希望から第 5 希望まで配属先の希望をフォームに入力する。**※11 月、ゼミ生カードを Google フォームへ提出後、受領メールの確認とともに、後日、上記 Web ページにおいて「ゼミ生カード提出者一覧」の掲示内容を確認する。未提出者にはメールで連絡がある。**ネットワークのトラブルなど、行き違いがある場合にのみ、**必ず**切後の提出を受理する。
- ④ Google フォームに入力された配属先の希望に基づき、次の手順でゼミ配属先を決定する。
 - (a) 通算 GPA 上位 15% (**3.58 以上**) の「**自動配属群**」と、それ以外の「**選考配属群**」に区分する。
 - (b) 「**自動配属群**」の学生について、GPA のスコアが高い方から順に、第 1 希望のゼミへ配属を決定する。その学生の順番までに第 1 希望のゼミがすでに定員まで一杯になっていたときは、第 2 希望のゼミへ、第 2 希望も一杯のときは第 3 希望へと、順次下位希望のゼミに配属される。
なお、「研究計画書の提出」など付帯条件が課されているにもかかわらず満たされていない場合は、希望順はスキップされる。
 - (c) 「**選考配属群**」の学生について、ゼミ生カードと成績表が、第 1 希望としたゼミの教員に送られ、選考される(ただし、既に空きがない場合は送られない)。
なお、「研究計画書の提出」など付帯条件が課されているにもかかわらず満たされていない場合は、選考の対象とならない。
 - (d) ここまでで配属先の決まらなかった「**選考配属群**」の学生について、GPA 順に上位から第 2 希望以下、定員に余裕のあるゼミに、自動的に配属される。
なお、「研究計画書の提出」など付帯条件が課されているにもかかわらず満たされていない場合は、配属の対象とならない。
 - (e) ここまでを「第 1 次選考」とし、第 5 希望までのゼミがすべて満員で配属先が決まらなかった学生は、「第 2 次選考」にまわる。
 - (f) **11 月 23 日(月)**以降、「第 2 次選考」対象学生に、この時点で空きのあるゼミが示される。
対象学生は、「第 6 希望から第 10 希望」の 5 つのゼミを、Google フォーム(11 月下旬に提示予定)で提出する(ゼミ生カードは第 6 希望のみ)。この希望にしたがい、(d)の手順と同様、GPA 上位者から順にゼミに配属される。
 - (g) この選考の段階でも配属先が決まらない学生については、GPA のスコアが高い方から順に個別に、空きのあるゼミについて連絡される。その中で、学生が希望するゼミに配属される。
- ⑤ 以上のプロセスが終了し、希望者全員の配属先が決定した後、**12 月 4 日(金)**に選考結果が発表される予定。なお、具体的な選考の経緯は一切発表されない。

教育学部 演習担当教員一覧

教育学学科教員《13名》

遠藤 幸彦（えんどう ゆきひこ）教授 ※

宇都宮 敦浩（うつのみや あつひろ）教授 ※

中野 良吾（なかの りょうご）教授

牛田 伸一（うしだ しんいち）教授

富岡 比呂子（とみおか ひろこ）教授

鶴田 真紀（つるた まき）教授

井上 伸良（いのうえ のぶよし）教授

毛利 眞紀（もうり まき）教授

大町 知久（おおまち ともひさ）准教授

飯村 周平（いいむら しゅうへい）准教授

島田 健太郎（しまだ けんたろう）講師

二瓶 正登（にへい まさと）講師

定方 太希（さだかた たいき）講師

（主な研究領域）

思春期青年期精神医学、精神分析的精神療法

臨床心理学、犯罪心理学

臨床心理学、学生相談

教育方法学

教育心理学、文化心理学

学校教育の社会学、教育問題の社会学

教育法制度

発達臨床心理学、学生相談

臨床心理学、家族心理学

心理学全般

国際教育開発、比較国際教育学、教育経済学

学習心理学、実験心理学

教育哲学、教育史

児童教育学学科教員《15名》

久保田 秀明（くぼた ひであき）教授

内藤 耕三（ないとう こうぞう）教授

舟生 日出男（ふなおい ひでお）教授

足立 広美（あだち ひろみ）教授

戸田 大樹（とだ だいき）教授

小西 一博（こにし かずひろ）准教授

上山 伸幸（うえやま のぶゆき）准教授

董 芳勝（とう ほうしょう）准教授

岩本宏幸（いわもと ひろゆき）准教授

堀舘 秀一（ほりたて ひでかず）准教授

小山 容子（こやま ようこ）講師

津田 真秀（つだ まさひで）講師

島 尚平（しま しょうへい）講師

新任 A

新任 B

スポーツ心理学、冒険的活動の心理学、体育科教育

スポーツ科学、体育の教材研究

教育工学、情報教育

幼小の音楽教育、声楽、ピアノ弾き歌い

幼児教育、保育者教育

特別支援教育、肢体不自由教育、発達障害教育

国語科教育、授業研究

音楽教育

特別活動、教師の学習

造形教育、表現技法・日本画

幼児教育

算数・数学教育

特別支援教育、知的障害教育、発達障害教育

社会科教育

特別支援教育

※ 1年目のみ。2年目以降は後任が演習を引き継ぐ予定です。

*